



Support SE 愛LOVE友 Education

No.6
美瑛町立美瑛中学校 すだちの教室
2020年4月27日 発行
文責 特別支援教育コーディネーター三上山



『一年を思うものは花を育てよ。十年を思うものは木を育てよ。百年を思うものは人を育てよ』

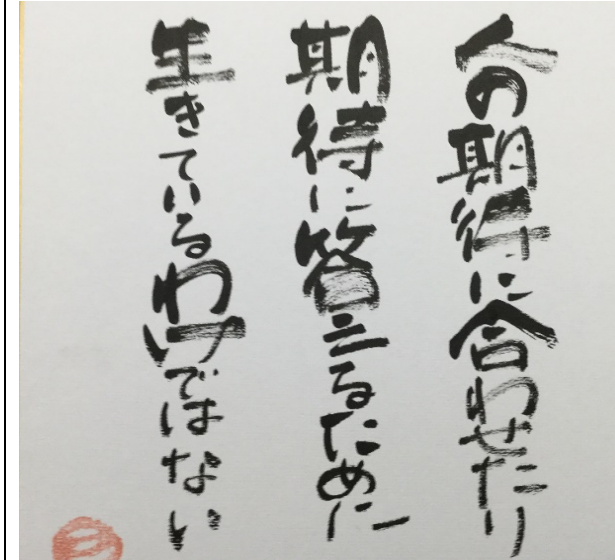
という言葉があります。

百年先のことを自分の目で見ること、なかなかできません。しかし、**子どもには、ぜひ、いい時代をプレゼントしたい**ものです。親としては…。そしてまた、この思いは私たち教職員も、地域の皆様方も同じではないでしょうか。ところで、ずいぶん前から「子どもたちの手先が不器用になってきている」と言われています。そして、「手先の器用さ」とともに、コミュニケーションがうまくとれないなど、「心の器用さ」も失いかけているのではとの指摘があります。一方、子育てにあたっている私たちにも、私たちの親が、時間をかけてきた子育ては姿を消し、「忙しい」という名のもとに、「手塩にかける」とか「手を尽くす」ことから「手」を抜いているのではとの声も聞かれます。今、親が「手を打つ」べきことは、たくさんあります。現実から目をそむけないこと。逃げないでありのままの我が子を見つめること。そして、**しっかりと「誉め」、きちんと「叱る」こと。**(まだまだ、子どもなのですから…)

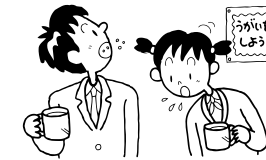
子ども時代に親や周囲に認められることは、子どもが成長する上で、大きな力となるにちがひありません。子どもが自信を持って自分の道を歩んでいきつかけになるはずですが、人は、認められることによって自信を得、充実感を持ち、幸せになることができるのではないのでしょうか。ひいてはそれが、周囲の人を認めることにも繋がります。**子育てで大切にしたいことのひとつは「認めて育てる」ということです。**(でも、人が成長し、関わっていくには時間がかかること、学ぶということ自体に時間が必要なことも忘れてはならないことです。感情だけに流されず、辛抱強く見守ることも大切なことです。)

子どもたちから「やった!」「できた!」という声が響いてくることを楽しみに、一丸となって頑張りたいと思っています。ご家庭や地域でのひとつも、どうかよろしく願いいたします。

東近江市立五個荘小学校 校長 宮居 伝 学校便り引用(平成25年9月2日)



ありがとう どれだけ言っても いいことば
ごめんなさい 早く言ったら いいことば
おかげさま いつも言えたら いいことば 橋本 和樹(愛知県みよし市 小学校4年生)



ケース会議と通級指導教室の日程調整をさせていただいています。今後どのような対応が大切なのか、また急な変更をすることになるかもしれません。日々行政側の要請や通知に配慮しながら、対応が試されているように感じています。特に大きな学校行事は見直さなくてはなりません。通級については、生徒が登校してきたときに対応していきます。**ケース会議は、今回日程調整した日時で、特別なことがない限り進めていきます。ただし、保護者の方の体調や私たちの教職員の体調とも相談しながら、取り組みます。**家庭での様子や登校が軌道に乗った時に、上手に対応していきたいからです。無理をしない状況に配慮しながら、子供たちを見つめ、寄り添っていきたいと思います。ご協力をお願いいたします。